

中央材料室この一年

中央材料室看護係長 佐野 雅美

年間目標

- 1) 安全で安心な滅菌物を提供する。
- 2) いつも笑顔で対応する。
- 3) 挨拶は必ずする。
- 4) 報告、連絡、相談をしっかりとる。

内容は昨年と同様だが、人事異動や新規採用があったため、安全面と接遇面を重視し、上記4点を平成17年度の年間目標として掲げた。安全面では大きな事故には至らなかったが、無意識によるミスがあった。作業内容が単純化すると、動作を繰り返すことだけに集中してしまう。意識して作業することの重要性と難しさを再認識させられた。接遇面では物品を対象にしているため、作業に集中すると無表情になりがちだが、受払いは笑顔を忘れずすみやかな対応を心がけた。実際どれだけできていたかは分からないが、継続していくことが、良い評価につながっていくと考えている。

人 事

退職	看護補 (半日)	3月31日付	1名
		9月30日付	1名
異動	准看護師	2月28日付	1名
配属	准看護師	3月1日付	1名
	看護補	9月1日	1名
採用	看護補 (半日)	10月1日付	1名

現在は看護科長 (手術室兼務) 1名、看護係長 1名、准看護師 1名、看護補 3名、看護補 (半日) 2名である。

動 向

バックシーラー機が老朽化により11月新規に交換された。以前はトラブルが多く業務が幾度となく中断され、払い出しが遅れることもあったが、シーラー機が新しくなり安心して業務に集中できるようになった。そして、一番大きく変化があったのは、一次洗浄を開始したことである。3月に外来の3部署から開始し、6月には特殊検査と救

急外来を除く全ての外来の物品を、時間を決めて受け入れ開始とした。最初は細かいことで戸惑いも多く、定着するまでに時間はかかったが、洗浄業務の重要性をスタッフ全員が認識できたことは大きな収穫である。一次洗浄と平行し外来、病棟 (3東、3西を除く) 専用カスト、鉗子立て、大綿球カスト、ガーゼカストの廃止を行った。このことで使用されずに返却されてきたガーゼや綿球が、パック化することによって無駄がなくなり、効率の良い滅菌につながっている。さらに、いままでは受身姿勢だった中央材料室が、実際に病棟へ出向き現状を把握しながら、スタッフと意見をすり合わせ物品の定数化を図ることで、各部署が必要としている内容を理解することができ、今後の良い連携に結びついていくのではと考えている。

会 議

月1回12:00~12:30に開催している。最初はほとんど意見がなく有意義とはいえなかった。しかし、業務改善が進み新しく取り入れる業務内容が増えていったせいか、以前よりも発言する場面が多くなっている。今後は勉強会も視野に入れて意見を引き出していきたい。

滅菌機の稼動状況

オートクレーブは1日1機平均3~4回、ガス滅菌機は1日1回と昨年と同様だが、手術室がキット化に移行したことにより、滅菌物品が大幅に減少していった。

来年度にむけて

- 1) ステラットを中央材料室に移動し、滅菌を中央化することによって効率よく稼働させる。
- 2) 3東、3西、特殊検査、救急外来の定数化、綿球カスト、ガーゼカスト、鉗子立ての廃止。
- 3) 衛生材料物品のSPD化